

分類名 [病害虫]

9 クレソキシムメチル剤（ストロビードライフロアブル） によるリンゴ斑点落葉病の防除

園芸試験場

1) 取り上げた理由

リンゴ斑点落葉病に対する新しい系統の薬剤として、ストロビードライフロアブルの実用性について検討した結果、対照薬剤（パルノックス水和剤）とほぼ同等の防除効果が認められたので、参考資料とする。

2) 参考資料

(1) 薬剤名 クレソキシムメチル剤（商品名：ストロビードライフロアブル）

- a 有効成分：クレソキシムメチル 47%
- b 製剤（外観）：褐色細粒および微粒
- c 毒性：普通物，魚毒性：B類
- d 安全使用基準：収穫30日まで，3回以内

(2) 対象病害虫

- a リンゴ斑点落葉病

(3) 使用方法

- a 使用時期：生育期
- b 使用濃度：1，500倍
- c 使用方法：散布

3) 対象地域等

県下一円

4) 特に留意すべき事項

- (1) 散布液調整は、水をかきまぜながら本剤の所要量を徐々に加える。
- (2) ボルドー液との混用は避ける。
- (3) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の連用は避け、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用する。
- (4) 本剤は、眼に対して弱い刺激性があるので、眼に入らないように注意すること。眼に入った場合は直ちに水洗する。

5) 背景となった主要な試験研究の概要

(1) 研究機関名及び担当部科名 園芸試験場 環境部 病害虫科

(2) 研究課題名及び研究期間 減農薬防除技術の確立 平成9年

(3) 参考データ

表-1 ストロビードライフロアブル2,000倍液のリンゴ斑点落葉病に対する防除効果(宮城園試)

薬剤名	調査月日			薬害
	5/29 (散布前)	6/6 (散布8日後)	6/19 (散布20日後)	
ストロビードライフロアブル(2,000倍) クレソキシムメチル47%	5.0 (8.7)	4.1 (4.5)	5.1 (5.5)	なし
パルノックス水和剤(600倍) ジラム50% チウラム30%	8.0 (5.6)	8.8 (12.8)	6.6 (9.6)	なし

注1) 品種:「ふじ」, 散布時期:平成9年5月29日の1回

注2) 調査方法:散布8日後(6月6日)と散布20日後(6月19日)の2回, 1区2樹から任意に30新梢を抽出し, その展開葉全葉について発病葉数を調査し, 発病葉率を算出した。薬害は随時肉眼観察により行った。

注3) ()内の数値は100葉当たり病斑数

<参考>

表-2 ストロビードライフロアブル1,500倍液のリンゴ斑点落葉病に対する防除効果(秋田果試)

薬剤名	調査葉数	発病葉率	発病度	薬害
ストロビードライフロアブル(1,500倍) クレソキシムメチル47%	1039	6.8	1.0	なし
トモオキシラン水和剤(500倍) 8-ヒドロキシキノリン銅 30% キャプタン 20%	971	10.9	1.7	なし
無散布	1007	39.6	6.9	

注1) 品種「スターキング・デリシャス」 散布時期:平成6年7月1日, 7月15日, 8月2日, 8月16日の計4回

注2) 調査方法:1区1樹3反復から任意に30新梢を抽出し, その全葉について8月22日に発病程度別に調査し, 発病葉率, 発病度を算出した。薬害は随時肉眼観察により行った。

注3) 発病度算出基準

0:病斑なし

1:病斑数が1~5個

3:病斑数が6~10個

5:病斑数が11~30個

7:病斑数が31個以上

$$\text{発病度} = \frac{\sum (\text{程度別発病葉数} \times \text{指数})}{7 \times \text{調査葉数}} \times 100$$

◎ なお, 本剤は今後斑点落葉病に対し2,000倍, 3,000倍についても登録拡大の予定である。

◎ 標準小売価格 3,800円/250g, 7,500円/500g

(4) 発表論文等
なし